

## 令和7年度 全国体力・運動能力、運動習慣等調査について

調査対象：5年生

調査事項

ア 実技に関する調査

握力、上体起こし、長座体前屈、反復横とび、20mシャトルラン、50m走、立ち幅とび、ソフトボール投げ

イ 質問紙調査（運動習慣、生活習慣等に関する質問紙調査）

### 1 結果と分析

- 男女とも、立ち幅跳びとシャトルランにおいて全国平均を大きく上回っている。
- 女子は、握力や上体起こしなど、全国平均より下回っており、筋力に課題がある結果となった。
- 男女とも、50m走と反復横跳びの走力、俊敏性に大きく課題がある。

### 2 取組についての評価

#### (1) 体育科の学習指導

##### ①効果があった取組

- ・ 事前に校内研修で、体カテストに向けた測定方法の確認や声掛けのポイント確認
- ・ 近接学年での合同体育
- ・ タブレットを活用した友達との交流の場を作り、動きのポイントや技のコツなどを学び合う活動の設定
- ・ 前年度の課題である瞬発力や持久力を高めるために、「スポコンチャレンジの1つである、全校で大縄チャレンジ」への取り組み

##### ②改善を図る点

- ・ 体育の授業の中で、児童が主体的に練習に取り組むことができるような場づくりやルールを工夫すること。
- ・ 筋力を高める運動については、委員会活動などを活用して全学年で行う時間を設定すること。
- ・ 必ず振り返りを行い、自分の課題が何かを可視化できるようにすること。

#### (2) 今後の体力向上に対する取組

- ・ 学校全体を通して走力を高めるために、鬼ごっこや逃走中など、楽しめる活動を行う。
- ・ 反復横跳びは、授業開始の準備体操の中に取り入れることで向上を図る。